



発行所

関西配管工事業協同組合
〒531-0071
大阪市北区中津1-2-19
新清風ビル7階
TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

編集者

事業部・教育情報部
HP:<http://www.kankan-club.or.jp/>
E-mail:jimu@kankan-club.or.jp

発行日
平成24年7月20日

Vol.56



関 西 配 管 工 事 業 協 同 組 合 機 関 誌

もくじ



● 第16回通常総会開催	2
● 平成24年度事業計画	3
● 組合役員構成	3
● 「労働保険に入っていますか?」	4
● 言葉の履歴書(浴衣・風呂敷)	4
● 認定職業訓練講座開催中	5
● 3団体懇談会開く	6
● 関連4団体協議会開催	7
● 青年部・レッキスの工場を見学	8
● 青年部・火力発電所見学リポート	8
● 理事会議事要旨	9
● 日管連 第7回定期総会開催	10

技能者育成に一段と注力 各種課題に協力して対応

組合の第16回通常総会は5月24日に組合事務局近くの三栄ビル会議室で開催し、各種研修・講習事業を一段と拡充し技能の向上に努めていくことを再確認するとともに、業界が直面する課題に協力して対応していくことを申し合わせました。

冒頭挨拶に立った斎藤昭一理事長は、「配管業界は全国的にみて

多忙な地域もあると聞くが、関西はそれほどでもない。昨今、仕事量が少しづつ減っているようにも感じる。なおかつ、サブコンさんも元気がなく、その仕事を受ける配管業界の収益面は実に厳しい。役所物件では予算的にまだましが、それも抽選など競争が激しくて当てにできない。ともかく、意気消沈しがちであるが、何



挨拶する斎藤理事長

けた各種講習に力を注ぐことを申し合わせました。

また、青年経営者や後継者の育成をめざして組合青年部の活動支援を行うこととしました。労働保険事務組合としての事務処理体制の強化、賛助会員との交流などに注力することとしました。

一方、材料価格の動向、受注価格の低迷などダクト工事業、保温保冷工事業と共に通する課題が数多くあるため、両業界と当業界で組織する関連3団体の会合を重ね、意見・情報を交換していくこととしました。さらに、登録配管技能者の育成と活用、建設業界の保険未加入業者問題など、より広範な業種にまたがる課題もあることから、この3団体に工事発注元であるサブコン団体にも加わってもらい、設備工事業全体で取り組むべき課題について共同で解決の糸口を探っていくことを確認しました。



とか元気を出して皆で乗り切っていこう」と呼びかけました。

総会は庄司真之副理事長の司会で進められ、加藤猛理事を議長に選出して議事に入りました。平成23年度会計・事業報告を行い、24年度の予算・事業計画を決めました。今年度も引き続き上部団体・日本配管工事業団体連合会と連携して業界の社会的地位の向上を図ることとし、登録配管基幹技能者や1級配管技能士の資格取得へ向



加藤理事を議長に議案審議

◇平成24年度事業計画◇

(24年4月1日～25年3月31日)

【総務部事業計画】

1. 組合員企業の経営に役立つ事業の計画と実施
 - (1) 経営者及び次世代経営者のための講演・研修会の実施
2. 組合並びに業界の社会的地位と認知度の向上を図る
 - (1) 日管連の企画実施事業に積極的に参加協力する
 - (2) 設備関係の団体との協議会などを通じて関係業界との意志疎通を図り、建設業界における当組合、ひいては日管連の地位の確立と向上を図る
3. 組合の発展と財政的基盤の維持向上を図る
 - (1) 組合員（正組合員・賛助会員）の拡充を図るための研究をする
 - (2) 組合財政の収支バランスを見直し健全な運営を図る
4. 組合員相互間の交流と相互理解を促進する
 - (1) 組合員相互の親睦を図るため、新年賀詞交歓会、見学会など全組合員対象の行事を企画実施するとともに、組合員懇談会を随時開催し、情報交換を図る
 - (2) 組合員及び所属優良従業員の表彰制度の実施に向けて準備する
5. 青年経営者・後継者の拡充強化を図るため、組合青年部の活動事業を支援する

【事業部事業計画】

1. 労働保険事務組合認可に伴う事務処理体制の確立と、一人親方労災保険特別加入の充実を図る
2. 作業服・ヘルメットなどの斡旋業務の見直しと組合取扱資材の増強を図る
3. 「工事作業日報」の充実活用と「配管工事積算工費資料」の改訂版発行の計画をする
4. 賛助会員並びに管工機材団体との懇談会の開催を実施する

【教育情報部事業計画】

1. 各種の資格取得支援の体制を維持・充実させ、技術研修会を開催し、高度な技能の伝承に努める
2. 認定職業訓練短期課程配管科1級技能士コースの実

施並びに技能検定試験事前実技講習を実施する

3. 「配管技能士」の社会的地位と認知度の向上を図るため長期的視野のもと研究に努める
4. 「登録配管基幹技能者」の確保・育成・活用の推進と「基幹技能者講習」の開催協力を図る
5. 機関誌「KAN KANくらぶ」の発行と内容充実を図る
6. 組合員相互間における工事施工繁忙情報事業の見直しと工事施工協力の活用方法を研究する

【青年部会活動計画】

1. 日管連全国青年部会との親睦・交流を図る
2. 毎月1回の例会を開催し、情報交換を図る
3. 工場見学会・勉強会・親睦会の実施
4. 親組合の記念行事・展示会などへの支援・協力
5. 青年部会への新規加入部会員の募集
6. インターネットを活用し、組合事業活動並びに青年部会の活動をよりPRする

組合役員構成

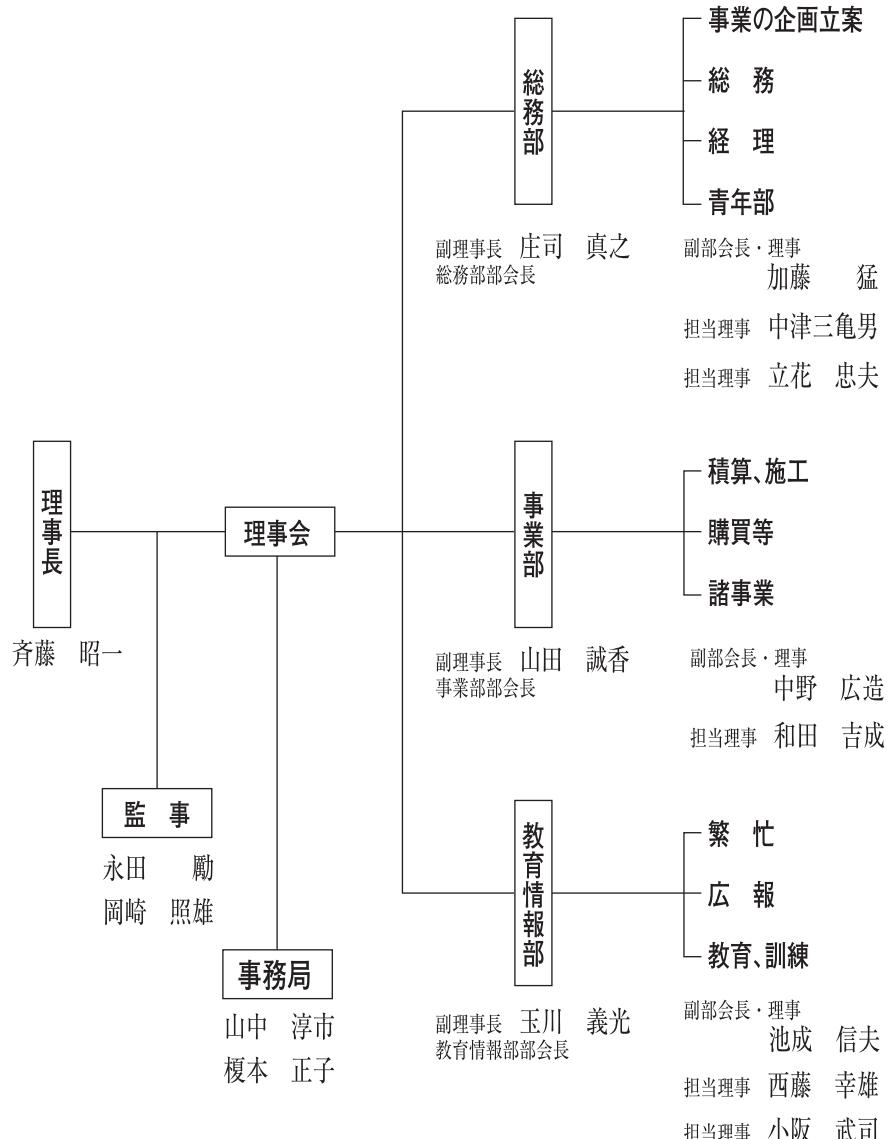
(平成24年度、敬称略)

- 理 事 長 齊藤 昭一 (株)三進興業所
副理事長 玉川 義光 (玉川設備工業株)
副理事長 山田 誠香 (株)寿工業所
副理事長 庄司 真之 (株)ツカサ
理 事 加藤 猛 (株)ティ・エム・プラント
理 事 和田 吉成 (株)和田設備工業
理 事 中野 広造 (中野設備工業株)
理 事 池成 信夫 (有)信成設備工業
理 事 中津三亜男 (株)中津
理 事 西藤 幸雄 (藤工業株)
理 事 小阪 武司 (小阪設備工業株)
理 事 立花 忠夫 (株)藤尾設備工業所
監 事 永田 勲 (サヤカ工業株)
監 事 岡崎 照雄 (岡崎産業株)

部 会

- 総 務 部・部会長 庄司 真之
事 業 部・部会長 山田 誠香
教育情報部・部会長 玉川 義光

関西配管工事業協同組合 組織図



今ではあまり使われなくなつたものに「風呂敷」があります。物を包むのに用いる「風呂敷」も、入浴の際、着衣を包んでおき、浴後その上で着物を着たところからついた名前です。

し、湯帷子は浴後の素肌に着るものになつたのです。こうみますと、湯帷子、袴、単衣、褲と日本の伝統的なものには読みにくい漢字が多いことに気がつきます。いわゆる当て字というものです。



裏地のついた袷（あわせ）に対して、帷子は片方のひとひらだけの单衣（ひとえ）のこと。はじめはもっぱら麻で作っていた湯帷子は、のちには木綿が使わ

夏は浴衣の女性が目につく季節です。高浜虚子の句
「浴衣着て 少女の乳房 高からず」といった姿も見
かけます。

ふつう「浴衣」の文字が当てられますが、もとは蒸
し風呂に入るときに着る「湯帷子」（ゆかたびら）の
下を略した言葉でした。

事業主の皆さん
労働保険に入っていますか?

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。労働保険とは「労災保険」と「雇用保険」を総称したもので、労働者を1人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

お問い合わせ先

◇労災保険制度については
労働基準監督署へ

◇雇用保険制度については
ハローワーク（公共職業紹介所）へ

【勞動保險事務委託團體・勞動保險事務組合】

關西配管工事業協同組合

【労災保険・特別加入団体】

關西配管工事業協同組合・一人親方組合

「浴衣」「風呂敷」

平成24年度認定職業訓練講座開催中

休日返上で技能向上めざす

日曜日に延べ15日間受講



組合の教育情報部会（部会長・玉川義光副理事長）が担当している認定職業訓練講座（配管科・1級技能士コース）が4月から9月まで尼崎市武庫豊町の兵庫職業能力開発促進センター（ポリテクセンター兵庫）で行われています。受講生は1級配管技能士の資格取得をめざして熱心にカリキュラムを取り組んでいます。

認定訓練講座は大阪府の認定を受けた短期課程職業訓練です。この認定訓練講座を修了するには全訓練時間の80%以上の出席と最終日の修了試験に合格しなければなりません。修了者には、技能検定国家試験（建築配管作業）における学科試験免除の特典が与えられます。講座は、ポリテクセンター兵庫で4月15日からスタート、9月9日までの日曜日、延べ15日間・120時間（学科25科目）にわたって続けられます。

今年度は27名の講習生が13名の講師から学んでいます。すでにこれまで流体の基礎理論・熱力学の基礎や材料各論、施工法、建築配管などの講義が行われ、これから

製図、関係法規、安全衛生などの科目の講習が続けられます。最終日に全科目の総まとめ（監督・玉川教育情報部会長）と修了試験が行われます。受講者の皆さんは休日返上で元気で研修に取り組んでいます。受講者の周囲の方々のご理解をたまわりますようお願い申し上げますとともに、今後とも認定職業訓練講座の積極的な活用をお願いします。

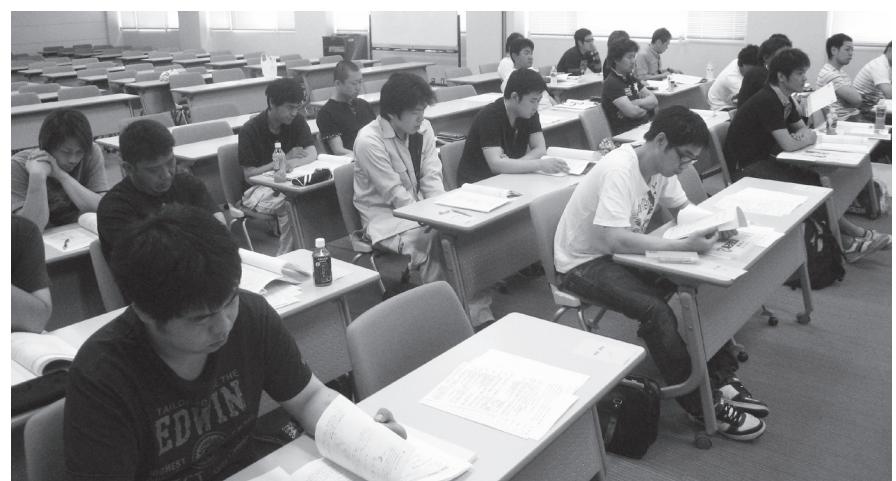
【講師の先生】（50音順、敬称略）

- ◇新井正信 ◇大原 明 ◇鬼武孝一
- ◇金野義弘 ◇佐藤昭利 ◇柴田健治
- ◇鈴木香次 ◇澄川史朗 ◇瀧口佳典
- ◇直江 健 ◇原本昌興 ◇宮本泰仁
- ◇森 良則

【受講者の皆様】

（社名50音順、敬称略）

- ◇（株）アラキ設備 = 若狭信幸、田尻敬博
- ◇（株）ウイング = 上坂歩
- ◇（株）岡村設備 = 岡村康幸
- ◇（有）コイト設備 = 小糸邦彦
- ◇サンキ工事 = 池田亘和
- ◇静間設備工業 = 静間平
- ◇（株）摂津管工 = 藤原昌樹
- ◇（株）セントラル医療設備 = 瓜生陽一
- ◇T・S・Kグループ = 守田慎一、寄友佐知子
- ◇（株）ツカサ = 伊藤慎介
- ◇（有）東豊設備 = 首藤栄二
- ◇東和管工（株） = 清水豊
- ◇中尾設備 = 中尾勝利
- ◇西尾設備工業 = 西尾彰太
- ◇原田工業（株） = 古田寛、宮崎淳、古田雄三、高田重雄
- ◇兵庫設備工業 = 高田和歳
- ◇星野工業（株） = 吉野勝巳、崎代隆之
- ◇漲総合設備 = 大野長幸
- ◇レッキス工業（株） = 花澤俊治
- ◇山下工業所 = 山下勇一
- ◇（株）ワールドE.N.G = 後藤雄樹



めざすは1級技能士

第31回 3団体懇談会開く

市場動向、基幹技能者で意見交換

当組合、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事、会長細見義征氏）、近畿空調工事業協同組合（ダクト工事、理事長増田岳史氏）は、3月12日午後3時から5時まで当組合事務局近くの三栄ビル会議室で第31回懇談会を開催し、市場動向、建設業業種認定分離の動向、登録基幹技能者の現状、社会保険未加入者問題——について話し合いました。

懇談会には保温保冷から6人、ダクトから4人、当組合から7人の計17人が出席。開催当番幹事のダクト団体の増田理事長が「昨今、技能者不足が顕著になっている。夏場、秋以降にどう対応するか難しいが、意見を出し合って克服していきたい」と挨拶したあと、意見交換に入りました。

「市場動向とその対応」については、ダクトは北ヤード（うめきた）や阿倍野近鉄デパート、フェスティバルホールなど大型物件があって忙しい状況が報告されました。ただ、秋以降は見通せないという声が多く出されました。保温もダクト同様に繁忙な状況が報告され、両業界とも職人不足に悩んでいる現状がクローズアップされました。また、両業界ともこ



の機をとらえて受注価格を建て直したいが、妥協点をどこに置くのが難しいといった声が出されました。

配管業界は、仕事量はますますという状況の中、サブコンが安値受注をし、それを上からの論法、力関係で押してくるので、どこまで踏ん張れるかがカギであるという意見が大勢を占めました。断り切れずに安値受注を余儀なくされるケースがあるという見方もあり、こうした実情から、今後、3団体で発注元に「ものが言える」ようにならないといけないという認識で意見が一致しました。

「建設業業種認定分離の動き」については、ダクト工事業種と保温保冷工事業種に関してそれぞれ業種の分離独立に努力しているが、現状では難しいとの見方が示されました。とくに、ダクトでは技能士の資格で主任技術者になれないという悩みがあり、今後、各

方面への働きかけを行っていくこととしました。

「登録基幹技能者」については、ダクトは1000人近くになり、今後増やすには1級技能士を育てなければならない、配管は1881人で特例が200人近くいて、まもなく2000人に到達する、保温は現在200人で、1600人が目標だが実現は厳しい——などの現状が報告されました。保温業界からは、受講料が高いので安くなる方法を工夫しているが、それでも高いという意見が出されました。3業界とも「登録基幹技能者が現場常駐義務となれば受講者が増える」とする声が大勢を占め、基幹技能者の周知、活用を訴えていくこととしました。

「社会保険未加入業者問題」については、国は2017年にすべての業者に社会保険加入を義務付け、厚生年金、健康保険、雇用保険を正しく理解させるとしていますが、「1人親方」で逃れることも予想されるという意見が出されました。未加入業者の現場就労など難しい問題を多くはらんでいるため、今後も大阪空気調和衛生工業協会など関連団体を交えて話し合いを深めていくこととしました。



当組合出席者

関連4団体協議会を開催

保険未加入問題を話し合う

サブコン団体の大空調和衛生工業協会（大空衛、会長大平哲也氏）と当組合、近畿空調工事業協同組合（ダクト組合、理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷協会、会長細見義征氏）で構成する4団体協議会の第9回会合が3月26日に大阪市中央区の大空衛事務局会議室で開かれ、建設業界の保険未加入問題について情報・意見交換が行われました。



建設産業においては、下請企業を中心に社会保険（年金、医療、雇用保険）について、法定福利費を適正に負担しない企業によって技能労働者の待遇を低下させ、若年入職者減少の一因となっているほか、関係法令を遵守して適正に法定福利費を負担する事業者ほど競争上不利になるという矛盾した状況が生じているといわれます。

このため、国土交通省では、建設産業の持続的な発展に必要な人

材の確保を図るとともに、事業者間の公平で健全な競争環境を構築する必要があるとして今年度から5年間をかけて建設業許可業者の保険加入率100%をめざして取り組みを開始しました。

協議会会合ではこの問題の現状認識について情報交換しました。大空衛から3団体業界へ現状を問われた結果、3団体所属企業の下請である零細業者の多くが保険未

—主な意見は次のとおりです—

「われわれの付き合っている5人未満の社員の企業はおそらく加入していないのではないか」

「法人企業は大丈夫だと思うが、それ以外は疑問だ」

「若い独身者のほうが保険未加入の比率が高い気がする」

「日給月給者は給料から突然、厚生年金が天引きされることに納得いかないと思うし、理解できる」

「建設業界では30代半ばで転職する者が多い気がする」

「正社員になって不確かな年金に期待するよりも、今日の日当が大事だと思っているアルバイト的な人が多い」

「事実、まじめに払い続けて生活保護より年金が安いという声もあって、これを聞いた人は保険加入に納得しないと思う」

「関西はとくに保険未加入企業が多いのではないか」

「保険未加入者を現場に入れなければ現場から職人が極端に少なくなるのではないか」

「行政が打ち出した対策の理想がよくわからない。一気に進めようすると現場は混乱するので段階を踏んだ取り組みが必要だ」

「社員であるのであれば、保険の大切さを素朴な言い方で教えていかなければならない」

「老後の問題として保険の魅力と強さを企業として社員に提示していく努力も必要だ」

加入業者ではないかとの意見が大勢を占めました。また、若い独身者は病気や遠い将来の年金より、現実の生活を楽しみたいという風潮があり、保険加入への関心が薄いのではといった声も聞かれました。さらに、3団体からは、実情に照らしてみれば、末端の業者まで保険未加入者を現場から締め出す性急な施策が行われれば現場は大混乱をきたすという意見が出ました。

青年部

レッキス工業の工場見学会を開催 —定例会で意見交換も—

組合青年部（朝倉博昭会長）は3月22日、東大阪市のレッキス工業で工場見学会と定例会を9人参加



加のもと開催しました。

同社は、当組合が毎年12月に実施している技術研修会の会場を提供していただくなど研修事業をバックアップしていただいている。周知のとおり、転造ねじのパイプマシンを開発され、高度技術で配管機器業界のリーディングカ

ンパニーとして知られています。

東大阪の本社工場は、高品質で低コストの製品を生産するほか、



常に時代の最先端の設備投資を行い、品質保証の国際規格「ISO 9001」の認証を1998年に、さらに環境マネジメントシステムの国際規格「ISO 14001」の認証を2003年1月にそれぞれ取得し顧客満足の向上や環境にやさしい商品づくりを行っています。

青年部一行は、午後3時から同工場の生産ラインをつぶさに見てまわり、隣接の「レッキスミュージアム」で各時代のパイプマシンを前に機械の変遷などを見学しました。午後4時からは会議室を借りて定例会を開催しました。定例

会では、◇旋盤オイルの処理方法及び成分分析◇現場用盗難保険◇日管連青年部発足——などについて意見を交換しました。また、青年部主催の集まりを9月に開催する予定としました。夕刻からは近鉄小阪駅近くで懇親会を催し、意見・情報交換をしました。

青年部

火力発電所見学レポート

—青年部— 小阪 武司

6月4日の月曜日、青年部で関西電力・姫路第1火力発電所を訪問しました。電力の歴史やこの発電所の概要の説明を受け、その後、バックヤード見学で発電機を間近で観たり、中央制御室や制御室そ

のままの訓練室を見学しました。大型蒸気タービンを使った「多軸再熱型コンバインドサイクル発電」方式の発電機を現在は2基稼動しており、1日140万キロワットの発電量で、高さ200㍍×2本の排熱煙突

がこの発電所のシンボルになっています。

通常、発電機での熱効率は34%程度なのですが、この再熱方式の採用で54%の高効率を達成しています。

職員さんは1日8時間×3交代で24時間発電を続け、メンテナンス業者を加えると、最大時約300名の方々が働いています。

バックヤード見学後、質問・懇談の時間を設けていただき、発電所のさらに詳しい内容をお聞きしました。今世間の大きな話題となっている「大飯原発」の再稼動に



ついてや「福島第1原発」の震災から現在の状況なども詳しく教えていただきました。

また、火力発電所の燃料である液化天然ガス（LNG）はほぼ輸入に頼っていますので、バイオマスやメタンハイドレードなどの燃料

や、火力に変わる風力・水力・揚水・太陽光発電などの展望について専門家のご意見を聞くことができました。

そして現在、夏のピーク時の電気使用量に対応するため、隣地に小型ガスタービンを備えた「第2発

電所」を建設中とのことでした。

夏を控え、その準備に大変お忙しい中、所長をはじめ各所員の責任者の方々にとても丁寧な対応で、貴重な時間をお付き合いいただき、大変勉強になった見学会でした。

理事会 議事要旨

【24年1月】

- ①第12回技術研修会終了報告
- ②23年度1級配管技能検定受検対策実技講習会報告
- ③23年度登録配管基幹技能者講習の受講者申し込み数報告
- ④24年度認定職業訓練配管科・1級技能士コースの受講申し込み状況報告
- ⑤賛助会員からの脱退申し出の件
- ⑥新年賀詞交歓会の運営打合せ
- ⑦その他（2月定例理事会の休会の件、大阪配管高等職業訓練校の第50期訓練生募集案内の件）

【24年3月】

- ①24年新年賀詞交歓会終了報告
- ②24年度認定職業訓練配管科・1級技能士コースの受講申し込み状況とカリキュラム・講師決定の報告
- ③組合員からの脱退申し出の件
- ④第31回3団体懇談会開催に伴う当組合からの提案事項検討＝「保険未加入企業」の排除策について提案
- ⑤第16回通常総会開催日程と場所・方法などの検討
- ⑥24年度組合事業計画並びに予算編成の基本方針検討
- ⑦その他（日管連会長・副会長会議出席報告）

【24年4月】

- ①23年度後期技能検定試験・配管（建築配管作業）受検結果報告
- ②24年度認定職業訓練配管科・1級技能士コースの受講申し込み者の報告と開講について
- ③第31回3団体懇談会出席報告＝3月12日に三栄ビルでダクト組合

の当番幹事で開催、3団体から18名出席

- ④大空衛主催の第9回4団体協議会の出席報告
- ⑤日管連理事会の出席報告＝3月16日に東京で開催され、当組合から斎藤理事長、玉川副理事長、立花理事の日管連役員が出席
- ⑥賛助会員からの脱退申し出の件
- ⑦24年度1級配管技能検定受検対策実技講習会の実施日程と講習会場について
- ⑧24年度組合行事計画予定表作成の件

⑨日管連役員・代議員の任期満了に伴う改選にあたり、当組合かの役員及び代議員選出の件＝当組合から日管連役員として斎藤、玉川、山田の3氏、代議員として庄司、池成の両氏を選出。なお、今年度まで長年、日管連役員を務めた立花氏は今期で退任する

⑩組合定款の一部変更の検討＝組合運営の円滑化などをめざして理事数と監事数の定数を若干削減する

- ⑪24年度組合事業計画（案）並びに収支予算書（案）の策定の件
- ⑫その他（5月定例理事会の日程変更、日管連からの連絡事項＝国土交通省からの通達事項）

【24年5月】(1回目)

- ①組合員からの脱退申し出の件と員外役員選出の件
- ②23年度組合事業報告並びに決算報告の承認
- ③第16回通常総会上程議案並びに総会議事運営方法

④その他（6月の定例理事会休会の件、日管連からの連絡事項＝国土交通省からの通達〈建設産業における各種保険加入の徹底について〉、大阪府立守口高等職業技術専門校からの案内通知〈24年度テクノ講座〉）

【24年5月】(2回目)

- ①第16回通常総会の運営打合せ
- ②日管連からの連絡通知「24年度登録配管基幹技能者講習」の案内とOJT講習科目の講師依頼の件＝近畿地区の開催時期が前倒しで24年9月6日～8日に開催することとなり、会場もこれまでの兵庫・三田からエル・おおさか（大阪市中央区）に変更
- ③組合取引業者である作業服の販売会社（株）イズコーポレーションの会社任意整理手続き開始の件

【24年7月】

- ①組合決算関係書類の提出及び登記事項完了報告並びに組合定款一部変更認可報告
- ②第6回サブコン有志一同会・課長会と配管組合との勉強会開催に伴う組合側からの出席者報告と今後の開催案内先の範囲の件
- ③24年度「登録配管基幹技能者講習」の当組合から派遣するOJT講習科目の担当講師決定報告
- ④大空衛主催・第4回配管技能コンテスト参加者の当組合から推薦報告
- ⑤賛助会員からの脱退申し出の件
- ⑥23年度脱退組合員に対する出資金払い戻しの件
- ⑦その他（8月の定例理事会休会の件）

スローガン「伝えよう技術 築こう絆 心一つに日管連」

登録配管基幹技能者の活用促進

当組合の上部団体・日本配管工事業団体連合会（日管連）は7月11日、名古屋市のホテル名古屋ガーデンパレスで平成24年度定時総会（第7回総会）を開催し、登録配管基幹技能者の資格取得へ向けた研修事業などで人材育成を図り、業界のレベルアップに取り組むとともに、「伝えよう技術 築こう絆 心一つに日管連」の今年度実践スローガンを決議しました。

今回の総会・懇親会の全体会合は中部配管工事業協同組合（理事長窪田俊昭氏＝日管連副会長）が担当組合として開催。北海道、東北、関東、関西、中国、九州の各組合代表者らに地元中部組合の役員・組合員・賛助会員が加わり、さらに関連団体やサブコン代表者などの来賓を合わせ約120人が参集しました。

総会では窪田副会長が開会の辞を述べ、相馬辰夫会長が挨拶したあと相馬会長を議長に選出して議事に入り、平成23年度の事業・決算報告に続き、24年度の事業計画・予算を審議決定しました。今年度の事業については、登録配管基幹技能者の育成と活用促進を中心、高齢者の現場就労確保、空調（ダクト）工事、保温保冷工事の関連団体との情報・意見交換、青年部組織への支援などに取り組んでいくこととしました。



挨拶する相馬会長

また、総会直前に開いた理事会で九州組合の代表者交代により、同組合の新代表者・児島孝廣氏が日管連副会長に就任したことが報告されました。

関西組合からの役員は、斎藤昭一理事長（日管連副会長）、玉川義光副理事長（日管連理事）、山田誠香副理事長（今総会で日管連代議員から理事に就任）、庄司真之副理事長（日管連代議員）、池成信夫理事（今総会で日管連代議員に就任）の5人で、立花忠夫理事は今総会で日管連理事を退任されました。総会には6人全員が出席しました。

員に就任）の5人で、立花忠夫理事は今総会で日管連理事を退任されました。総会には6人全員が出席しました。

最後に、長年、日管連副会長として業界の発展に貢献された前九州組合代表者・長谷川清氏に感謝状と記念品が相馬会長から手渡されました。

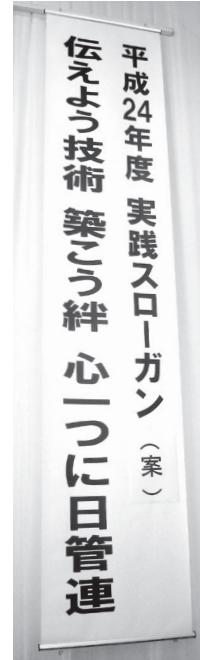
議事終了後、講演会が開かれ、建設業振興基金の鯨島優・参事が「登録配管基幹技能者制度の現状及び今後の展開について」と題して講演しました。この中で同氏は、登録配管基幹技能者の認知度や活用が徐々に進んでいる現状を明らかにしましたが、いぜん、技能者の絶対数が少なく、また技能者を抱える企業も偏りがあって技能者保有企業数も少なく、そこから生じる活用の障害などを指摘し、早く目標数（配管基幹技能者は3000人）



議案説明する斎藤副会長



関西組合出席者(前列右から玉川氏、立花氏、池成氏、後列右から庄司氏、山田氏)



名)に達するよう努力を要望しました。さらに、業界団体の地方自治体へのアピールも弱いと指摘、今後、さまざまな機会を通じて都道府県や市町村へ基幹技能者の活用を訴えるよう求めました。

このあと、来賓を交えて懇親会となり、開催地代表の窪田副会長の開会の辞に続き、挨拶に立った相馬会長は「われわれ配管工事業はライフラインの扱い手としてプロの自覚と誇りを持ち、その姿を広く世間にアピールしていこう。そのためにも配管技能のレベルア

ップが欠かせない。登録配管基幹技能者の育成と活用の促進を図るとともに、ダクト工事、保温保冷工事など関連業界の皆様と共に通の悩みを話し合い、協力して克服していきたい」と述べました。さらに、相馬会長は「厳しい市況が続くが、いかに適正価格で受注するかが今後の業界の発展の鍵となる」と強調しました。

政官界、関連団体代表者の来賓挨拶に続いて乾杯したあと賑やかな交流が繰り広げられました。

全国の業界人が参集して交流



平成24年度活動方針(要旨)

われわれ設備業界では受注価格の異常な状況、共に働く仲間の高齢化などの中で、今まで培われた技能の継承、新しい技術の教育、基幹技能者をはじめ、各種免許など技能講習をもって現場で頑張っている皆様に報いることができないのが現状です。

われわれの業界が一番身近な、日常生活の基本であるライフラインを日々守っている誇りある職業であることを如何に理解してくれるか、また、させていくかが今日の取り組む課題だと考えます。日本空調衛生工事業協会と関連3団体(配管・ダクト・保温保冷)との協調から生み出せるものは何か、今後も知恵を出し合っていきます。

また、登録配管基幹技能者数を目標の3000名超にすることと、技能者が真に現場において意義ある立場で業務を遂行できる環境づくり、新たな人材の発掘・育成のためにも魅力ある職場環境をつくり出す活動をしていきます。

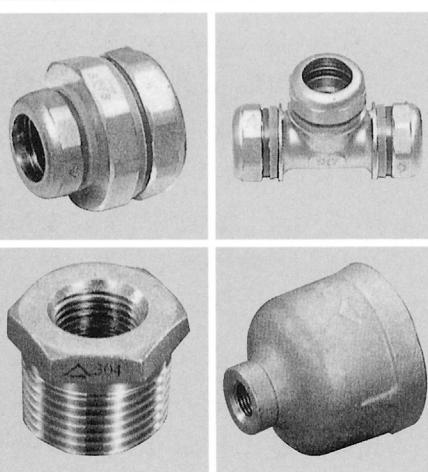
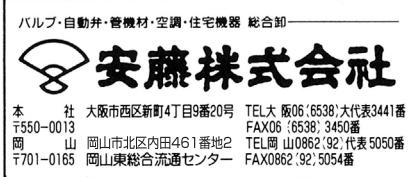
「適正」

をお届けします。



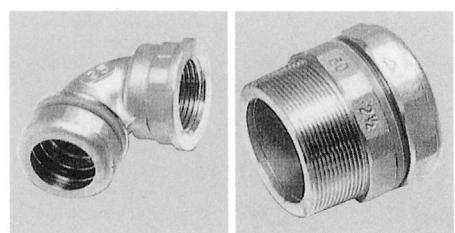
バルブ(BC・FC・コアタイト…)

建築技術の進歩と共に、設備工事における配管施工の技術の革新も大きく進歩しています。安藤株式会社は、多種多様な用途別ラインごとに適正な機種の選択をして、適正な商品をお届けする事を使命と考えております。



ステンレス製品

- メカニカル式管継手
サスフィット 拡管式
- ねじ込み継手



株式会社 吉年

本社・工場 〒586-8528 大阪府河内長野市上原西町16-1
TEL:0721(53)3121 FAX:0721(54)1814
東京支店 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-11
TEL:03(5297)8221 FAX:03(5297)8222

印管継手

給水・給湯・冷温水に!! 2つのSUS管用継手登場!

Materials Magic

ワンタッチ式

SUSDAKE(サスダケ)

新製品!



拡管式メカ継手

ZLOK

(ゼットロック)

- ・印管継手
- ・管端防食管継手 **PQWK**
- ・日立カップリング継手 オメガシリーズ
- ・日立密閉型膨張タンクシリーズ
- ・ウォーターハンマ防止器

日立金属株式会社

関西支店

〒541-0041

大阪市中央区北浜3-5-29(日生淀屋橋ビル)

TEL:06-6203-9704 FAX:06-6202-0730

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

HITACHI